

こうとう民報

2014年 8月号 118

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

残暑お見舞い申し上げます



3年に一度開催される深川八幡大祭 神輿に水をかけることから水かけ祭りとも呼ばれています。

この国を、東京を、 ふたたび火の海にさせない！

全国空襲被害者連絡協議会



この国の終戦記念日となる8月15日、全国空襲被害者連絡協議会・結成4周年のついでに「この国を、東京を、ふたたび火の海にさせない」がアメリカブラザで開かれ350人が参加しました。

戦後69年、日本政府はいまだに空襲被害にあつた民間人に対して何の保障もしていません。これは国家が引き起こした戦争に對して「なんの反省もしていない」何よりの表

「生きて伝える」の上映が行われ、東京大空襲で親を亡くし戦争孤児になった吉田由美子さんの半生を紹介しています。戦争孤児となった吉田さんは親戚を転々。どこか一杯の時代です。「なぜお前も一緒に死ななかつたのか」何度も言葉の暴力が投

「平和をどう伝えるか」をテーマに講演をおこなった藤森研さん(元朝日新聞論説委員・専修大学教員)は、学生たちと、たくさんの方が虐殺された沖縄のガマを訪れたときのことを語り「ガイドをしてくれたのは40代の女性。その方はたくさんの戦争体験者に話を

聞いた、学生たちに「自分の言葉」で話してくれた。それをみて、戦後世代でも悲惨な体験を語り継ぐことはできるのだと感じた。いま国の在り方を大きく変えるようなことが起きているのになかなか大きな動きがつかれていない。でも若い人たちはきちんと聞く耳を持っている。自分の言葉で話せるか、伝えられるかが大きな力。それぞれのかたの言葉で、それぞれのかたで平和を伝えていこう」と訴えました。

今年の世界大会には、アングラ・ケイン国連軍縮問題



世界大会に参加した江東代表団のみなさん

世界大会で採択された「広島からの呼びかけ」は核兵器禁止条約を求める共同声明や運動が125カ国に広がり世界の大勢だとして、一部保有国が「核抑止力」にしがみつき、条約交渉の開始に抵抗していることを厳しく批判。

8月4日から6日、原水禁禁止世界大会に参加しま

被爆者の思いも受け止めて頑張りたいと感じました。

核兵器のなる平和と世界のため

8月2日から開かれた原水禁禁止世界大会に、江東区から党江東地区委員会、東京土建江東支部、日本機関紙印刷所労組、江東区職労、江東民商、新婦人江東支部など6団体14名からなる代表団が参加しました。

また被爆者のみなさんが、核兵器の残虐性・非人道性を告発し、核兵器を「抑止力」として保持することに一片の道義もなく、人類と核兵器は共存できないと訴え続け世界を動かしている」と決議しました。

そのうえで「核兵器全面禁止のアピール」国際署名の運動などを発展させよう。来年のNPT再検討会議が開かれるニューヨーク行動に結集しようと呼びかけました。

原水禁世界大会に 参加して

区議会議員予定候補 山本真



僕が参加したのは非核平和の自治体づくりの分科会でした。

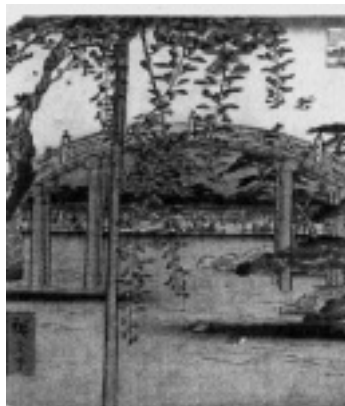
今、各地で集団的自衛権に対する反対の声が、自民党の議員からもあがっています。自民党議員とも共同できるほどの幅広い取り組みなども考えさせられました。

被爆者の願いは、自分がしてきた悲惨な経験を誰かに仕返しするという復讐ではなく、誰にも繰り返させたくないという崇高な思いです。だからこそ、世界の平和運動を牽引してきたのだと思います。

この8月は、例年になく東京に高温注意報がだされました。立秋を過ぎてても炎暑は続いています。時折吹く風には秋を感じます。69年目の終戦記念日にあたり、原水禁大会や全国空襲被災者の集会などで戦争の惨禍が語り継がれるとともに、侵略戦争での残酷な加害の告発や「玉砕」の悲劇の映像が電波にのって流されています。毎年恒例とはいえ、日本版NSCと秘密保護法、そして集団的自衛権行使容認の閣議決定など、憲法9条を形骸化した安倍政権の暴走によって、日本が再び海外で戦争する国になる危機が現実味をおびてきた今日、切実な意味をもつてきました。04年12月9日、「9条の会」アピールに賛同した「江東9条の会」結成から10年。憲法改悪反対共同センターの役割を担う大運動実行委員会による9の日宣伝は100回をこえ、団地署名活動も9月には辰巳団地で予定され、「継続は力」を草の根で実践されています。「戦争は別の手段にいます」「戦争は別の手段による政治の継続である」(クラウゼヴィツ)、湧きおこる国民の不満をそらす常套手段です。世界に類のない基地国家である日本の政府と県知事は今、アジア最大の米軍基地建設に血道をあげています。11月の知事選でのオール沖縄の推す候補の勝利で、この暴挙に止めをさすことを願わずにはいられません。

「浮世絵と江東」

歌川広重「亀戸天神境内」



概説 江東の歴史 (24)

江戸時代の江東区は多くの浮世絵に描かれ、歌川(安藤)広重と葛飾北斎の絵が有名です。

歌川広重は、1797(寛政9)年、八重洲河岸の火消組同心安藤徳右衛門の子として生まれ、15歳で歌川豊広の門人となって、歌川広重の名を許されました。1832(天保3)年、京都に上ったときのスケッチをもとにした「東海道五十三次」が代表作ですが1856(安政3)年、60歳のころ写生の新しい境地を開き、「名所江戸百景」でゴッホも模写した「大橋あたけの夕立」をはじめ多くの名作を描き、「東都名所」「江都名所」でも江東の姿を描いています。

葛飾北斎は、1760(宝暦10)年、本所割下水(墨田区)で生まれ、葛飾と称して狩野派、土佐派、琳派などを学び、司馬江漢の洋風画と銅版画をとり入れ独特な画風を創造しました。1836(天保7)年ごろには、万年橋あたりに住んでいます。「富嶽三十六景」では「本所立(豎)川」「深川万年橋下」「五百羅漢さざみ堂」など、洋風版画では「高橋の富士」を大胆な構図で描いています。フランスの印象派に大きな影響を与えました。

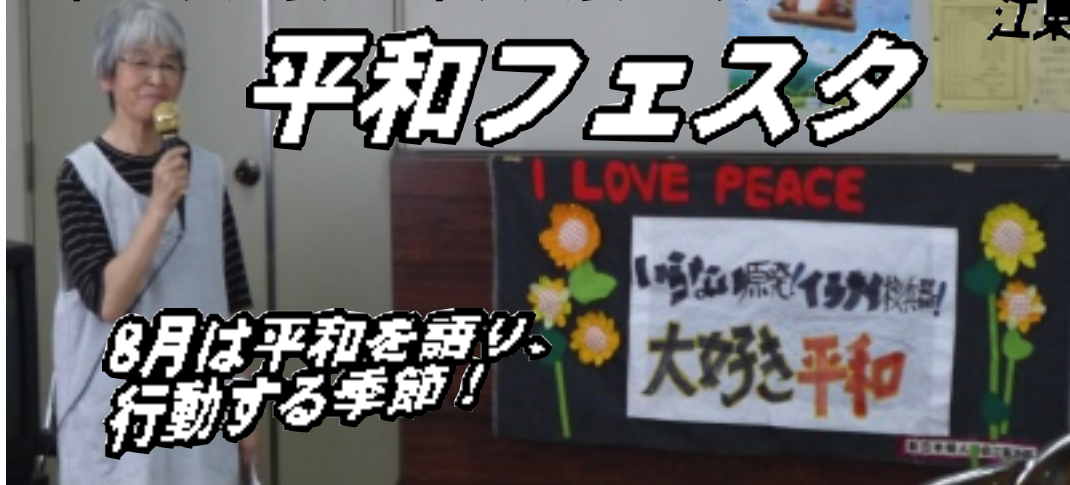
歌川国貞(豊国)は、1786(天明6)年生まれで、本所五つ目(五の橋)に住み「五渡亭国貞」の名で活躍。初代豊国を継いで亀戸天神前に住むと「亀戸豊国」ともよばれました。役者絵の背景に深川の風景を描き、「江戸自慢」で「両国夕涼」「洲崎二十六夜」「五百羅漢施餓鬼」などをとりあげています。亀戸三丁目の光明寺に墓があり、「五渡亭」の文字が刻まれています。

豊国の役者、広重の景色とならび歌川国芳の武者は三羽烏(がらす)とよばれ、国芳も「洲崎初日出の図」などを描いています。

明治、大正には小林清親が西洋画法の構図と光線を用いた浮世絵を描き、「五本松雨月」や「深川ふゆき弁天」などが有名です。

☆原水禁大会・母親大会応援☆ 新日本婦人の会 江東支部

平和フェスタ



挨拶をする中村美智子会長

7月28日、新日本婦人の会・江東支部は「原水爆禁止世界大会・母親大会応援 平和フェスタ」を小松橋区民館で行いました。

中村美智子会長はオープニングで、「いま憲法改定など平和がひじょうにおびやかされる状況がつかられつつあります。新婦人・江東支部では、この数年間、原水爆禁止世界大会に代表団を派遣できていませんが、今年に代表を送り、戦争のない平和な世界をめざす力にしたい。今日はバザーや催しものがたくさんあります。ぜひ楽しんでいってください」と挨拶。会場では、平和書道や絵手紙、タペストリーの展示。布ぞうりやちぎり絵の体験コーナー。みんなで健康食を食べ、交流を深めたおしゃべりカフェ。腹話術や母親大会50年のあゆみのビデオ上映などの催しも行われました。みんな楽しんでながらも、「核兵器なくそう！平和憲法を子どもたちに手渡そう！」と決意を固めあった1日となりました。



体験コーナー



バザー



展示コーナー



8月5日、文化センターで3回にわたって上映され、定員500席が3回とも満席になるほどの人たちが鑑賞しました。障がいのある子どもたちの放課後活動を記録したドキュメンタリー映画で、舞台は冬木にある「こびあクラブ」。クラブは「どの子にも生き生きと楽しい放課後を、発達のニーズに合った保育を保障していく場をつくらう」と母親たちが中心になってスタートしました。映画監督は枝川に住む宮崎信恵さん。映画は子どもたちと職員の間で実践を約3年にわたって取材し、放課後活動の重要性を訴えるとともに、子どもの心身の発達に欠かせない「自発性」の芽生え、「自尊心感情の大切さ」を浮き彫りにしています。

「世界」を生きる僕たち私たちが

近隣の公園、プール、奥多摩の川キャンプ、料理づくり、クリスマス会など各場面で子どもたちの「葛藤」とともに輝く笑顔が印象的です。

宮崎監督は「多くの団体・個人の理解と協力で作られました。3回とも満席なんてないことではないでしょうか。子どもたちの健やかな成長のため、放課後活動が一層充実、発展できるように頑張りました」と訴えました。



監督の宮崎信恵さん

行事予定

- 9月8日(日) 13時
 - 『亀戸事件90周年追悼会』
 - 赤門浄心寺・亀戸事件追悼会実行委員会
- 9月8日(日) 9時半
 - 『憲法9条を守る団地署名パート6』
- 9月9日(月) 7時半
 - 『第100回憲法守れ・9の日宣伝行動(区内7駅)』
- 9月10日(火) 19時
 - 『9の日宣伝行動100回記念大学習会』 総合区民センター・レクホール
- 9月21日(土) 16時
 - 『地域労組こうとう第5回定期大会』 東京土建江東支部会館